

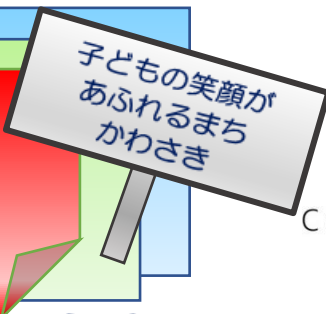


Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市

令和3年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆



1月22日(土) 感染防止の観点からオンラインでの開催になりました。特別支援教育に関する理解と実際、日本語指導等が必要な子どもたちへの支援についての講義と演習が行われました。

「誰が困っているのか」「困った子ではなく、困っている子」……



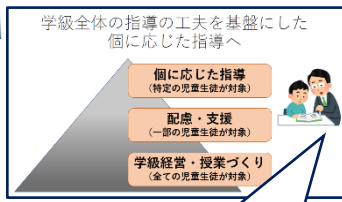
学級担任という立場である場合、学級経営を基盤に支援を行っていくことに気がつくことができ良かったです。

令和4年1月22日(土) 日程

- 10:00 特別支援教育
- 11:10 日本語指導が必要な子どもたちの教育
- 11:55 まとめ
- 12:05 ブレイクアウトセッション (振り返りの交流・質問等)
- 12:25 事務連絡・チャットへの感想入力
- 12:30 終了

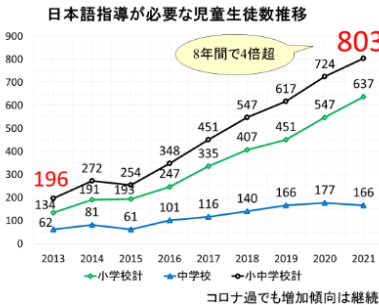


支援をする際に何を意識すればいいのか、大切にすることを学ぶことができました。



一番困っているのは児童本人であり、児童の声に耳を傾け、気持ちに寄り添うという普段からの信頼関係づくりが児童を支援する上で非常に大切なことに気が付かされた。

年度	児童生徒数
2013	134
2014	191
2015	193
2016	254
2017	348
2018	451
2019	547
2020	617
2021	803



教育現場では学んだことを駆使して対応していきたい。

すぐにどんな支援ができるのか、アドバイスや方法を考えがちだったが、子どもの気持ちに寄り添ってどんな支援を求めているのかまずは話を聞くべきだと気がきました。



「教員の発する言葉が日本語のモデル」であるという自覚をもって、何気ない発言や言葉遣いに気を付けたいと思います。

多様性は社会を豊かにする…最も印象に残りました!

子ども一人ひとりの背景が異なるからこそ、一人ひとりの子どもに向き合うことが大切だと感じた。



多文化共生社会に向けて

「ちがってあたりまえ」「わからなくても大丈夫」
多様な価値観の社会

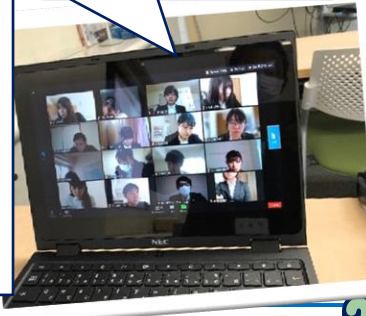
偏見 差別の心

→受けとめる学校地域・支えがある社会
→私たちの多様性が問われているのかも

多様性は社会を豊かにするという価値観の醸成

外国人児童生徒等指導 多文化共生教育
→ 未来の川崎を築き組み

一人ひとりに、どう支援の手を伸ばせるか
・豊かなかかりで子どもを支える
・不安→安心→自立へ



残念ながら今回の教師塾については、オンライン形式による開催とさせていただきます。パソコン画面越しになりますが、一人ひとりの受講生の皆さんの表情を見ることが、改めて教職に対する思いの強さを推察しました。また、チャットには「次回はぜひ対面で会えることができれば」「対面で意見を交流させたい」といった感想が多数ありました。なお、最終回の2月19日(土)は、集合・オンライン形式いずれの開催であっても、12月に実施した「教員採用に向けた個別相談」及び「教職に関する相談会」については工夫して実施する予定です。